



# 園だより6月号

令和8年6月1日  
社会福祉法人 愛光会  
ハローこども園  
浜松市中央区下江町 522  
電話(053)425-5586

## 6月 行事予定

1	月	衣替え
2	火	
3	水	歯科検診 親子ひろば
4	木	
5	金	新卒採用試験①
6	土	
7	日	
8	月	
9	火	交通安全教室(うさぎ・ほし組) 身体測定(ひよこ・ほし組)
10	水	園外活動の日(お弁当) 食育講座(つき組)
11	木	身体測定(りす・めだか組)
12	金	新卒採用試験② 身体測定(うさぎ・つき組)
13	土	評議委員会 10時～
14	日	
15	月	体操教室
16	火	環境学習(うさぎ組)
17	水	平日職員会議
18	木	園長会
19	金	職員お作法教室
20	土	
21	日	
22	月	体操教室
23	火	英語であそぼう ダメたばこ教室(つき組)
24	水	親子ひろば
25	木	音楽教室 以上児誕生会
26	金	芳川の里訪問(つき組) 保育料口座引き落とし日
27	土	
28	日	
29	月	避難訓練
30	火	英語であそぼう



園周辺の田植えが始まり、カエル達が鳴き始めています。そろそろ、オタマジャクシにも会える季節ですね。

今年もハロー畑に野菜の苗や花の種を植えました。各クラス子ども達が、オクラ・トマト・かぼちゃ・スイカ・ピーマン等の苗を植えました。毎朝の水やりを一生懸命行い、生長を楽しみにしている子ども達です♪

収穫できる日が待ち遠しいですね☆



優しく土の布団をかけて…

大きくな～れ!

お友だちと協力して植えたよ!



## ★お知らせとお願い★

- 歯科検診について…6月3日(水)に園医のえとう先生による歯科検診を12時頃より行います。都合でお休みされる方はお申し出下さい。
- 湿気の多いこの時期、活動によって子どもは、汗びっしょりになります。半袖等、薄手の衣服の補充をお願い致します。また、衣替えに伴い衣服のサイズ、名前の確認もお願い致します。
- 水筒の中身は多めに入れて来て下さい。少なくなった場合は園で補充をしています。



# ハローこども園の学び

## ～食と環境～

ハローこども園の周辺や園庭では、様々な生き物の命が育まれています。ことに、子供たちは、テントウムシやアゲハチョウ、ダンゴムシなど卵から成虫に、あるいはメジロやシジュウカラ、スズメなど卵から成鳥になる生き物を、日常的によく見えています。

そして、ほとんどの生きものにとって、子を産み、育てることは生命サイクルの中心です。子に食べ物を与え、守り、いろいろな形で生きる術を伝えます。

5月の初旬、南園庭で、そんな野鳥の親子に出会いました。

## へびから子を守る

一昨年度のつき組が作った巣箱で、今年もシジュウカラの雛がすくすくと育っていました。子供たちは、雛に餌を運ぶシジュウカラの姿を、よく見かけていました。ところが、その巣箱の中にへびが侵入したのです。

あ！あそこにも。ここにも。  
雛がいました！いました。



かわいい。

よかった。

生きてたんだね。

どうやって、逃げたのかな。

つき組さんにて・・・

シジュウカラが卵を産みました。



お父さんとお母さんが、連れてったんじゃないの。

お父さんとお母さんが、運んだんだよ。

お父さんとお母さんは、毎日、何度も何度も、餌をあげます。



お父さんとお母さんが、先にへびを見つけて、知らせたんじゃないの？

5月のある日、へびが巣箱に入り込みました。びっくりして、へびをほうきで追い払いましたが、...

すごい！その通り！シジュウカラのお父さんとお母さんは、いつも敵が来ないか見張っていて、シジュウカラの言葉でジャージャー（へびが来た！）って知らせるそうです。



巣箱に雛はいませんでした。

ええええ！

わたしも、おばあちゃんの家で、地震があったとき、ママが守ってくれた。

家のパパもママも守ってくれるよ。

かわいそう。

パパは危ないところは、だっこしてくれるよ。

たべられちゃったの？

シジュウカラは、巣やヒナが危険にさらされたとき、親のシジュウカラが擬傷行動と呼ばれる「わざと弱っているように見せる動き」をして、捕食者の注意を自分に引きつけて子供を守ることもあるそうです。今回、子供たちは、シジュウカラを通して親の愛を学ぶ機会となりました。



逃げたんじゃない？

# ハローこども園の学び

## ～食と環境～

近年、子どもが育つ環境が変化しており、子どもの生活空間の中に自然や公園などの遊び場が少なくなり、また、あっても、子供が遊んでいることは少なくなる一方で、テレビゲームやインターネット等の室内の遊びが増えるなど、偏った体験を余儀なくされています。

また、環境と同時に子どもの食をめぐる、発育・発達の重要な時期にありながら、栄養素摂取の偏り、朝食の欠食や十分な時間をとれない等の原因から様々な健康への影響が懸念されています。

そこで、今年度は「食と環境」に視点を当てて、園での活動を紹介していきます。

まず、環境においては、現在職員実践研修において「命の営みを感じられる環境づくりをめざして」をテーマに研修を行っています。植物や生き物などの自然体験を通して植物が匂いを放ち昆虫や野鳥などの生き物呼び寄せ環境の中で五感を働かせて、興味関心や好奇心が育ってほしいと願っています。

食育では「保育所における食育に関する指針」における幼児期の以下の目標に従って、園内でも食育活動を行っています。

- (1) お腹がすくリズムのもてる子ども
- (2) 食べたいもの、好きなものが増える子ども
- (3) 一緒に食べたい人がいる子ども
- (4) 食事づくり、準備にかかわる子ども
- (5) 食べものを話題にする子ども

また、「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」における教育及び保育内容の「健康」「人間関係」「環境」「言葉」「表現」の5領域において、いずれの領域にも、食に関する内容は含まれています。保護者の方とも思いを共有し共に考えていきたいと思っております。

宮野恵理子

## 環境学習「はるをさがそう」

環境学習では、寺田隊長を招いて、ほし組さんが春を探す活動を行いました。子供たちは、寺田隊長の話を真剣に聞き、ルールを守って春探しを楽しみました。

### 出会い



こんにちは。おじさんのことは、隊長とよんでね。森の友達イモリを連れて来たよ。イモリは体の中に毒を持っているけど、触っても大丈夫だよ。

### 五感の話



口は何をするところかな？

食べる。

おいしい。

熱い。

冷たい。

甘い。

### 注意すること



ハチに会ったらどうする？

逃げないと刺されちゃう。

意地悪しなければ大丈夫だよ

走って逃げる。

急に走るとハチも驚くから、静かに少しずつ離れてね。

### 春探し

春の花！



カラスノエンドウ

寺田隊長は、五感の説明をし、五感を働かせて春探しをするように子供たちに伝えました。



テントウムシ



タンポポ



シイタケ



子供たちは、意欲的に春探しをしました。シイタケには、みんなすぐに走って行きました。「テントウムシはアブラムシを食べるから。」とカラスノエンドウがたくさん生えている場所に走りました。いつも園庭で遊びつくしている子供たちは、どこにどんな生き物がいるか、よく知っています。